

ホワイトスペース特区・実験報告



「春サカス・エリア放送実験」
～東日本大震災支援放送～



平成23年7月13日(水)

(株)TBSテレビ技術局

本間 康文



本日の報告

第1章 ホワイトスペース特区へのTBS提案とその活動

第2章 東日本大震災に伴う災害支援放送実験の報告

第3章 IMC2011における”TBSの展示実験”の報告

第4章 今後の課題

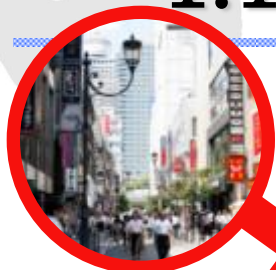
第1章

ホワイトスペース特区への TBS提案とその活動



TBSの「ホワイトスペース特区」への提案と「ホワイトスペース特区先行モデル」に決定以降にTBSが実施した各種実証実験について報告します。

1.1 「赤坂サカス放送プロジェクト」の概要



町から発信される情報



TBS取材情報



観光客・子供

- ・ 公開スタジオ
- ・ 収録／送出設備



町で働く人々



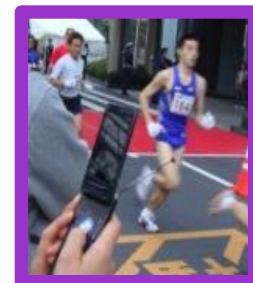
送信設備



サイネージ エリアフルセグ

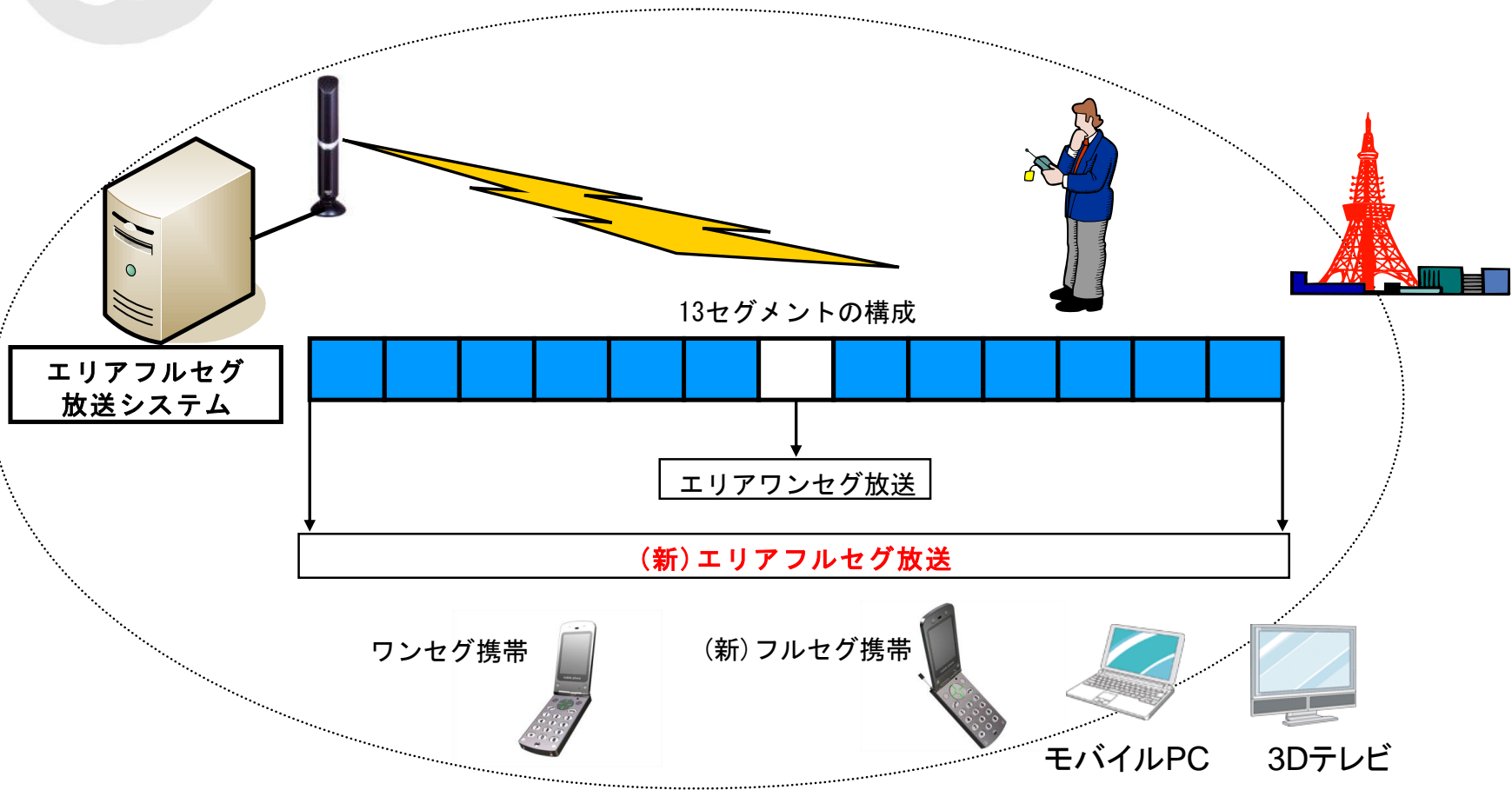


電子テキスト



エリアワンセグ

1.2 エリアフルセグ放送とは？



1.3 エリアフルセグ放送への期待

1) エリアワンセグ放送

・従来の携帯電話端末に加えて、モバイル端末等へのエリア放送ならではのコンテンツ配信実験。更にはエリアフルセグ放送との相乗効果を期待した実験への期待。

2) エリアフルセグ放送

・エリアHDTV放送による大画面ディスプレイによるデジタルサイネージへの適用に関する実験への期待。

・更に、エリア3D放送を大画面3Dテレビで受信することによる新しい形のパブリックビューイングに関する実験への期待。

3) 新ワンセグ携帯への期待

・フルセグ受信携帯の出現により、HDTVや3D放送のモバイル環境での利用可能性や新たな情報提供形態への期待。

1.4 TBSの特区実験活動(実績)

特区実験	期間	概要
①夏サカス (赤坂)	2010.7.17～8.31	・仮設スタジオからのエリアワンセグ実験 ・ライブハウスからのエリアフルセグ3D生放送実験
②冬サカス (赤坂)	2010.12.01～ 2011.2.14	・ライブハウスからのエリアフルセグ放送を用いたデジタルサイネージ実験 ・12セグ、ワンセグ受信機の性能評価実験
③春サカス (赤坂)	2011.4.3～5.8	・仮設スタジオからの東日本大震災に関する災害支援エリアワンセグ放送実験
④IMC2011 (幕張)	2011.6.8～6.10	・東日本大震災に関する災害支援エリアワンセグ放送実験の展示実験(春サカスの再現) ・避難所に地域限定放送局の提案

①は既報告、②は学会報告予定(7月)、③&④は本資料で報告

第2章

東日本大震災に伴う 災害支援放送実験の報告



東日本大震災に際し、東京赤坂から発信した災害支援エリアワンセグ放送のコンテンツの紹介とその効果を検証する。



2.1 東日本大震災の発生(3/11)

- 1)3/11に東北・北関東を中心に大地震発生
- 2)TBSでは発生後延べ5日間に渡り、報道特別番組を編成。
- 3)当初春サカスで予定していた花サカスイベントを中止し、「JNN・JRN絆プロジェクト」として、災害支援プロジェクトを企画。
- 4)上記プロジェクトに連動した災害支援エリアワンセグ放送実験を実施。

2.2 災害支援エリアワンセグ放送

- 4/3(日)～5/8(日) 赤坂サカス広場にて、東日本大震災支援エリアワンセグ放送を土日祝中心に実施。



・赤荻アナ(男)と加藤アナ(女)が被災県の復興の取り組みや生産品を紹介中。生産品は、サカス広場でも販売。

2.3 災害支援ワンセグデータ放送

- 4/3(日)～5/8(日) 著名人の被災地応援手書きメッセージ(60人分)をワンセグデータ放送コンテンツとして自動更新モードでサイクリックに送出(以下サンプル)。

日本中の皆が
応援しています!
大丈夫だよ
サンドウィッチマン伊達

ちょっとでも
笑えたら
生きていけるはず"
サンドウィッチマンとみざわ

こんな時こそ
全力で
笑いましょう!
オリエンタルラジオ

日本中、そして世界中
がみなさんの側に居ます。
ココロコ. 田中直樹

この手書きメッセージは、その後各地の避難所に届けられ、被災した人を励ますために掲示された。

2.4 ワンセグ携帯のイメージ



2.5 災害支援放送用仮設スタジオ



写真1.仮設スタジオ内設備



写真2.仮設スタジオの全景

2.6 被災県の生産品の販売ブースなど

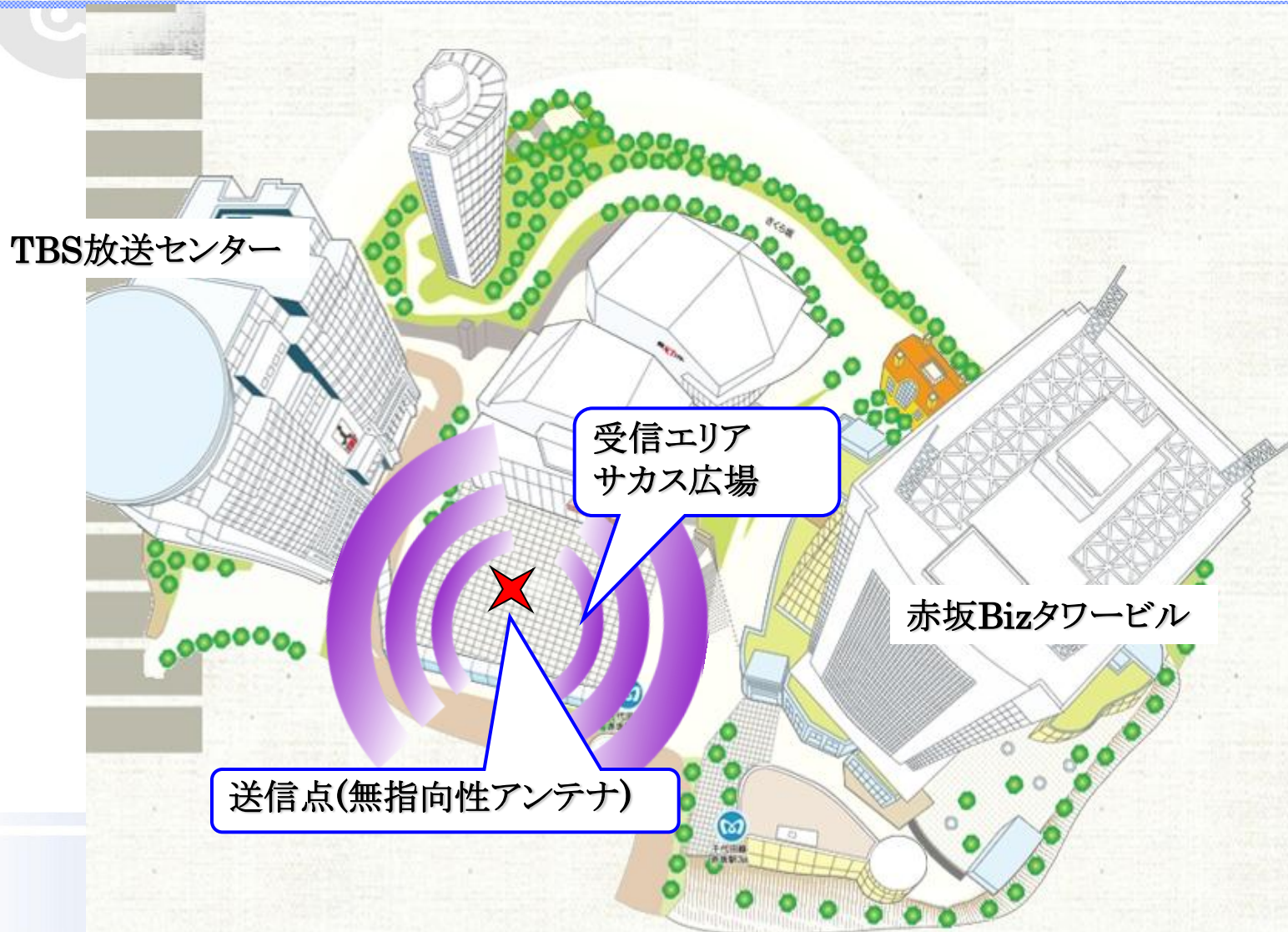


写真3.被災県ブース



写真4.サカス広場の全景

2.7 TBSサカス広場周辺図



2.8 無線局の諸元

無線局種別	実験試験局	
識別信号	TBSあかさかえりあでんぱんじっけん	
周波数	UHF45ch(水平偏波)	
空中線	定格出力	10mW
	利得(無指向)	2.15dB
	海拔高	16.4m(地上高3.4m)
	受信エリア	送信点より半径 約100m

2.9 実験の成果

- 1)サカス広場での被災県の生産品ブースとの連動ワンセグ放送により、募金や生産品の販売に寄与した。
(注)生産者をゲストに地震後の復興への取組みや生産の苦労話など、サカス来場者を共感させた。
- 2)東京(赤坂)からでも間接的ではあるが災害支援をサポートすることができ、連動したエリアワンセグ放送より、より効果的に成果を上げることができた。
(注)Ustreamにも同時配信し相乗効果を上げた。

第3章

IMC2011における “TBSの展示実験”の報告



6/8-6/10に幕張メッセで開催された
IMC2011「総務省ホワイトスペース推
進会議ブース」でのTBSの展示実験
について報告する。

3.1 IMC2011の展示実験の意義

1)IT系技術者向けイベントで多くの来場者(注)があり、ホワイトスペース特区活動の良い広報の場と想定される。

(注)IMC2011は併設イベント含め3日間合計で約12万人参加

2)ホワイトスペース特区先行モデルは、既に成果を上げた実験の再現やその報告の場として適切、4/8に新たに追加された特区25者は、実験計画の広報の場として適切と思われる。

3)TBSは先行モデルとして展示スペースの一部をお借りして、「東日本大震災のエリアワンセグ放送実験」の再現と「避難所のエリアフルセグ地域限定放送局」の提案を行った。

3.2 総務省ホワイトスペースブースの全景



写真5.ブース正面



写真6.来場者への説明の様子

3.3 TBSの展示実験コーナー



写真7.TBSの機器展示



写真8.TBS展示の来場者

3.4 避難所に地域限定放送局を(動画)



(TBS News-i 6/9 経済ニュース)

第4章 今後の課題

1)東日本大震災により、改めて放送の公共性や伝送の同時性や即時性が再認識された。特に、停電時にも利用できる携帯によるワンセグ放送は災害直後に有効に使われたケースもあった。

2)今後は、ホワイトスペース特区実験もエリア放送であっても日頃は公共性を生かす有効な利用方法の創出や災害時は情報伝達手段として利用できる機能性も考慮した実験が必要と痛感している。